

本格的動電型振動試験装置

# Big-Wave

～ 200N 15mmp-p ～



振動試験機は大きく重く、しかも高い常識を打ち破る本格的システム誕生！  
これは振動試験機の下克上だ！

## Option

水辺補助テーブルで水辺加振も出来ます。(オプション)パターンなどご指定頂けます。もちろん垂直加振も出来ます。



水平・垂直方向に加振するアタッチメント

## トランニオン

水平方向(垂直も可)に加振。パターンなど指定が可能

## 水平補助テーブル



## 自然空冷200N

W160xD160xH174という小さなボディからは想像できない200N! ツインコイルという強力Nd磁石をツインヨークに効率よく設定。しかも騒音・排気が問題になる空冷を全く必要としません。本格的試験を省スペース・低コスト・低騒音で実現できます。

## 最大振幅15mmp-p

カーボンファイバーによる超軽量・高剛性な独自形状フレキシチャーと上下に6面支持ローラーによる3点支持により、このクラスでは最大の15mmp-pを実現しました。低域での振幅制限を減らし、より幅の広い試験が可能となりました。

## 本体重量11kg

重く大きいイメージのある振動発生機、たった11kgでこの性能を実現しました。移動時や輸送時も軽々持ち運びできます。逆さまに加振機の設置する場合などでもクレーン等不要です。

## 最大出力200VA

振動コンソール部のパワー部分にはデジタルアンプを採用、アナログに比べ変換効率を上げ、小さなボディにWaveMaker比4倍の出力200VAを誇ります。

もちろんWaveMaker同様コード一本の簡単接続!

正弦波ファンクションジェネレーター9,999Hzまで分解能0.1Hz、専用センサー(オプション)を接続するだけで加速度表示できます。表示は1m/s<sup>2</sup>(Gも可能)外部入力信号切替標準装備 本格的振動制御装置と組み合わせます。



振動発生器 SW-2015

振動コンソール APD-200FCA

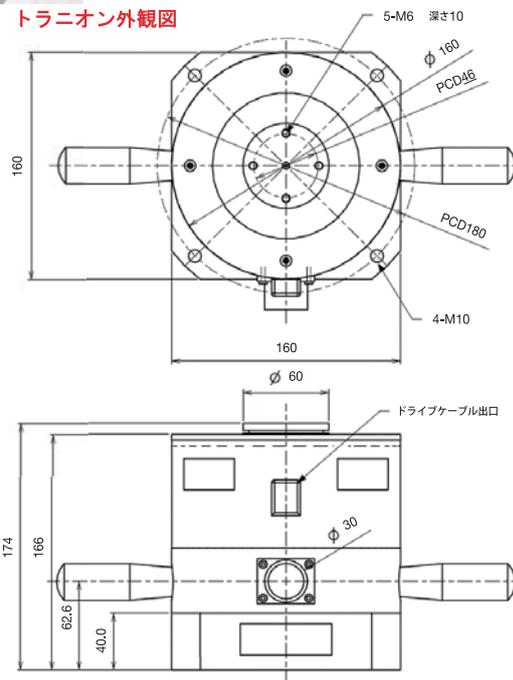
小型振動試験機  
構成 SW-2015 + APD-200FCA  
**BigWave**

振動発生機 SW-2015

振動コンソール APD-200FCA

振動発生機部	加振力(N)	200	自然空冷	振動コンソール部	定格出力(VA)	200	
	周波数範囲(Hz)	1~8,000	無負荷時		最大電流(A)	10	rms
	最大加速度(m/s <sup>2</sup> )	285	正弦波入力 無負荷時		最大電圧(V)	20	rms
	最大振幅(mmp-p)	15	無負荷時		入力電圧(V)	10	(0-p)
	バネ常数(KN/m)	15			消費電力(VA)	300	
	可動部重量(kg)	0.7			本体重量(kg)	8	
	加振機重量(kg)	11			電源	単相100V15A以下	コンセント

トランシオン外観図



### option

内容	備考
加速度センサー	シェア型 テーブル1.5m付属
加速度センサー内蔵	専用可動部に交換、センサーは振動テーブル裏側に固定
リモートコントロール	外部より出力を制御(フェードIN・OUT・エラーリセット)
トランシオン	水平・垂直方向に加振するアタッチメント
水平補助テーブル	水辺方向(垂直も可)に加振出来ます。パターンなど指定が可能
1/10出力切り替え	出力を1/10に絞ることで微小レンジでの調整が可能
加速度分解能切り替え	1/10と連動して加速度の分解能を1m/s <sup>2</sup> から0.1m/s <sup>2</sup>